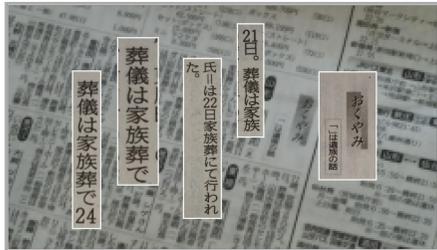


やましん歌壇掲載歌<第30回>

		平成26年3月～平成31年4月	令和1年5月～
短歌	掲載短歌	H30年8月：姫沙羅の花卉に残るひと雫 真夏の空の青映しおり：阿部京子選	R4年12月：ヴェネツィアの恋人たちの息づかひ 不意に湧き出づ古きアルバム（*）：佐藤幹夫選
		H30年8月：日捲りの暦のごとく政策の 消えては現れ言葉が躍る：井上管子選	R4年12月：コロナ禍のおくやみ欄に「家族葬」 たちまち広がり薄らぐ絆（*）：井上管子選
写真短歌（*）&共同制作の写真短歌（**）	* * * 他人の写真に自身の短歌 * * * 写真も短歌も自身の作品		<p>写真短歌</p>  <p>ヴェネツィアの恋人たちの息づかひ 不意に湧き出づ古きアルバム</p> <p>写真撮影地：ヴェネツィア（イタリア） 短歌：令和1年12月26日付け「やましん歌壇」掲載歌（佐藤幹夫選）</p>
			<p>写真短歌</p>  <p>コロナ禍のおくやみ欄に「家族葬」たちまち広がり薄らぐ絆</p> <p>葬儀は家族葬で 氏1は22日家族葬にて行われ 21日、葬儀は家族 おくやみ</p> <p>撮影地：山形市（自宅） 短歌：黒澤自志 令和1年12月26日付け「やましん歌壇」掲載歌（井上 管子選）</p>
作品	短歌	下記の写真短歌の短歌を含めて86首	下記の写真短歌の短歌を含めて113首（令和8年1月まで）
	写真短歌	38作品（自身の作品：37+共同制作：1）	80作品（自身の作品：52+共同制作：28）